

ワークス・ジョブカレ通信

～ココロつなぐかけ橋～ 9月号

平成 28年9月1日発行
社会福祉法人 グロー
～生きることが光になる～
びわ湖ワークス・ジョブカレ
東近江市躰光寺町 250 番地
TEL0748-42-3715

今月の1枚



「ほほえみまつり」楽しかったですね！

グローのとがわほほえみまつり 開催しました！

8月25日にグローのとがわほほえみまつりを開催しました。オープニングはこうあん一座さんによるちんどん行列で幕開け。カラフルな衣装を身にまとい、陽気な音楽に合わせて会場を回っていただきました。ステージでは、うたごえグループ シャロームさんの素敵な歌声とオカリナの演奏にうっとりしたり、手拍子をしながらみんなで歌ったり・・・。一条かなめさんによるマジックショーではみんな驚いて不思議な表情！特に子供たちに人気で大盛り上がりでした。模擬店では、かき氷やうどん、炊き込みご飯などがしゅってんみふと見るとフランクフルトに長い行列が！スタッフ総動員で対応しました。利用者さんもまつりスタッフに入ってもらい、大活躍でした。またあてゲームや魚釣りゲームでは、みなさん素敵な景品をゲットできたでしょうか？当日はらいじょうしゃかんけいしゃあやくめいかたさんか来場者、関係者合わせて約350名の方が参加してください。地域のみなさんとよい交流ができました。ありがとうございました。

ほほえみまつり

☆利用者さんの感想☆

- ・うどんがおいしかった。
- ・シャロームさんの歌が印象に残っている。
- ・販売は忙しくて疲れたけれど、楽しかった。
- ・マジックショーがおもしろかった。
- ・一緒にステージにあがって歌を歌った。
- ・ちょっと緊張したけれど、気持ちよかった。
- ・出店でいろいろ食べた。焼きそばがほしかった。

いろんな意見を活かしてよりよい交流の機会を考えていきます。

びわ湖ワークス余暇活動

8月16日に余暇活動を行ないました。午前中はピザ作りで、チーズ、ピーマン、おくらなど思い思いに生地のにせました。焼き立てのピザをほおばり、「おいしい！」とほっこり。午後からはびわこ博物館へ。マンモスの骨の大きさに驚いたり、オオサンウオを探したりして過ごされていました。



行事予定

- 1・15日 ジョブカレ会議
- 2日 太極拳
- 3日 仕事の基本研修
- 5日～7日 能登川中学校職場体験
- 14・28日 ワークス支援会議
- 15日 利用者健康診断
- 20日 サービス調整会議
- 21日 職員会議、湖南就職面接会
- 23日 サポステ情報交換会
- 29日 湖東・湖北就職面接会



9月の主な作業

- 自主製品
 - ・製麺作業 ・製菓作業
 - ・「いっぺき」にて接客業務 ・弁当づくり
 - ・自主製品販売
- 施設内作業
 - ・部品組み立て ・ケーブル巻き
 - ・部品検品 ・ペットボトルキャップ洗浄
 - ・梱包シール貼り・たとう紙
- 施設外就労
 - ・部品組み立て ・配線パイプ通し
 - ・部品検品洗浄 ・掃除機部品組み立て
 - ・部品袋詰め
- 施設外作業

私の趣味、こだわり

～職員リレートーク2～

生活支援員 福原 昭宏

私の趣味は小説を読むことです。小説といっても、ジャンルはバラバラで、冒険、ファンタジー、推理、ミステリーなど、面白そうだなと思ったものを読んでいます。集中して読み出すと、物語の中に入り込んで、頭の中に映画のように映像が浮かんできて2、3時間ほどがあっという間に過ぎていることがあります。最近読んで面白かったのは『世界から猫が消えたなら』という小説でした。休日にのんびりソファでごろごろしながら小説を読むのが最高の楽しみだったのですが、子どもに遊びをせがまれて、なかなかゆっくり読書に浸れる時間がなくなっているのがちょっと残念です。いたってインドアな趣味なので、体がなまらないように体を動かす趣味も持ちたいなと思う今日この頃です。

お知らせ

健康診断があります

日時：9月15日（木）13:15～16:00
場所：能登川作業所
利用者対象の健康診断です。

「仕事の基本」

職員研修を実施します

日時：9月3日（土）9:30～17:00
場所：能登川コミュニティーセンター
講師：石井 俊男氏

ゴールドスター通信

7月30日（土）に京都スイーツパラダイスに行ってきました。スイーツパラダイスは、ケーキだけではなく、ジュース、パスタ、サラダにカレーライス、うどんまで食べ放題！みんな何から食べようか迷ってしまうほどでした。ケーキはたくさん種類がありすぎて、困ってしまいましたね。そのあとは京都駅でショッピングしてお出かけを楽しみました。



日々是好日～このごろ思うこと～

がんばる！ニッポン。

4年に1度のオリンピックが幕を閉じた。さまざまな競技で日本人選手の活躍が連日報道され、テレビの前で声援を送り、感動や勇気をもらった人も多かったことだろう。メダリストのみならず「東京オリンピックに向けて努力したい」という言葉が多く聞かれた。目標に向かって日々頑張ってきたアスリートは終わりがスタートなのか。「石の上にも3年」ということわざは「3年」を長い時間としてたとえているが、4年後の自分を明確にイメージして、カメラの前で誓うことができることに「心、技、体」の強さを垣間見る。私たちには見えていないオリンピックへの厳しい道のりは、過去にも未来にも繋がっていく。パラリンピックも同じように。ひとつのスポーツとの出会い、その場面での人との出会い、輝ける自分に出会えた奇跡の瞬間の積み重ね。オリンピックにはそんな沢山のドラマがあった。スポーツ以外のことだっていい。目指す君を、きっと誰かが応援している。

編集後記

ほほえみまつり楽しんでいただけましたでしょうか？
ご協力ありがとうございました。(N)